

小 林かいち(1890-1968 京都出身)は、
 画家家として着物の図案に携わっていましたが、
 30才前後の大正後期～昭和初期にかけて、京都・さくら井屋が
 版元となった絵葉書・絵封筒のデザインを数多く残しました。
 既く女性・薔薇・鈴鹿・十字架・ゴンドラ・トランプ……
 かいちは乙女好みの魅惑的なモチーフを組み合わせた
 アール・デコ調の絵柄を展開します。
 さらにその図案は伝統的な木版画技法と融合し、
 色鮮やかで精緻豊かな絵葉書・絵封筒となって、
 京都を訪れる感性豊かな女性たちを魅了しました。
 2008年に小林かいちを取り上げた当館企画展の開催中、
 ご遺族の存在が明らかになるという大きなニュースがありました。
 その後新たな絵葉書・絵封筒作品も発見され、少しずつ解明は進んでいますが、
 かいち作品と人物像は、今なお多くの謎に包まれています。
 前回の展覧会から5年——本展では小林かいちの次男・小林嘉寿氏
 及び保科美術館の全面的な協力を得て、小林かいちの芸術を展覧し、
 その美の魅力と謎に迫ると共に、
 かいち芸術を生んだ時代の
 京都の姿を紹介します。



乙女デコ&京都モダンのデザイナー

小林かいち展

—大正～昭和初期に花開いた絵葉書・絵封筒の美—

2013年 10月3日(木)～12月24日(火)



●学会員による
 キヤラリートーク
 10/20(日)、11/10(日)、12/15(日)
 午後3時より
 ★11/10(日)は、小林かいちの次男・
 嘉寿氏をご案内いたします。

●画集「小林かいち」
 (河内書院新社)を刊行予定!

●同時開催
 「大正ロマンの画家
 竹久夢二の世界」

竹久夢二美術館
 〒113-0032 東京都文京区東1-2-4-2 TEL:03-5689-0162
<http://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

当館蔵資料提供: 保科美術館(京都府)
 *複製はすべて小林かいち・再・保科美術館蔵

KALCHI

姉妹館: 弥生美術館と三館併せてご覧いただけます。

東京・
 谷根千
 レトロ散歩

交通: 東京メトロ千代田線秋葉原駅より
 南北線東大塚駅共に徒歩1分
 京王線東大塚駅より徒歩1分
 徒歩10分(東京メトロ千代田線秋葉原駅より)
 本館が最寄りです。お車の場合は、
 お車でのアクセスはご遠慮ください。

休館日: 日曜日、ただし、
 10/14(日)・休館の日、開館、翌(火)休館
 11/17(月)・本館休館日、開館、翌(火)休館
 12/23(日)・年末早退日、開館、翌(火)休館
 時間: 午前10時～午後5時(入館は4時まで)
 料金の一般900円 大中学生800円 小学生400円
 *高学年の小学生一人も併せてご覧いただけます。

割引券
 小林かいち展
 本券が2名以上で
 10日以内で
 ご購入できます。

